

議会広報

# かりば

第118号  
平成19年1月



## 平成19年成人式

— 平成19年1月7日 ふれあい交流センターおあしす —

### おもな内容

#### ►第4回定例会

行政報告 ..... 2ページ

審議した議案と内容 ..... 2~3ページ

一般質問 ..... 4~9ページ

意見書の提出 ..... 9~10ページ

►第4回臨時会 ..... 10ページ

## 第4回村議会定例会

平成18年第4回村議会定例会は12月18日に招集され、全議員が出席し、会期を12月19日までと決め、議長の諸般報告のあと、村長の行政報告があり、そのあと3人の議員が村政に対する一般質問を行い、決算認定5件、委員会調査報告3件、発議2件、議案11件、報告1件、意見案3件、閉会中の継続調査1件をそれぞれ審議して18日閉会しました。

決算  
認定

## 審議した議案と内容

- ▼ 17年度一般会計歳入歳出決算の認定

▼ 17年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

▼ 17年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

- ▼17年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
  - ▼17年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

行政報告

医師住宅については、12月15日に完成いたしました。検定は12月20日に予定しております。

また、11月13日開催の議員協議会でも報告いたしましたが、飯塚医師は、12月25日に着任することとなつております。

1月から診療業務に携わっていただき、嘱託手当では、月額200万円で、予算はこのたびの議会に補正計上させていただきましたので宜しくお願ひいたします。

## 2. 行政改革について

行政改革につきましては、18年度において数回の行革推進本部会議において議論し、



完成人士醫師住室

## 2. 避難場所施設の現状につ ざれたい

2. 避難場所施設の現状について

一時避難所の地理的的確性の検討（見直し）及び施設の現状把握並びに管理に万全を期されたい。

3. 村防災計画の内容の定期的

▼委員会調査報告

する審議の結果、いずれも全員賛成で認定することに決定しました。

- ・給食センター
  - ボイラーオムニの改善（換気）を検討されたい。
  - ・屋内ゲートボール場
  - 建物本体の損壊が見られるので、抜本的な対策を検討されたい。あわせて本施設の今後の活用策を検討されたい。
  - ・運動公園
  - 国道側フェンスが損壊しているので、改修あるいは撤去について対処されたい。
  - ・医科・歯科診療所
  - 衛生面から、清掃には万全を期されたい。
  - ・生きがい創造センター
  - 設置主旨を尊重した運用を図られたい。
  - ・葬斎場
  - 火葬炉の改善、維持を年次的に進められたい。
  - ・保育所
  - 入所児の健全育成及び設備の充実を図られたい。
  - 特に、保育室カーテンの取替について、年次計画で実施されたい。
  - ・スポーツセンター
  - 雨漏り被害の原因となつてゐる不具合箇所（軒天部）の

改修を検討されたい。

### ▼委員会調査報告

#### (後志広域連合に関する調査特別委員会)

平成18年6月19日第2回定例議会で調査の付託を受けた

所管事務調査について、中田仁史委員長より調査の結果が報告されました。

### 1. 漁協・農協の運営状況について

第一次産業就労者の個人所得の向上に繋がる施策及び後継者育成策を検討されたい。

離農休耕地の有効利用策を検討されたい。

### 2. 賀老の滝遊歩道及びブナ林並びに峰越林道の調査について

滝見遊歩道の整備充実を図られたい。

峰越林道について、災害時等の避難路確保の観点から、降雪期以外の安全かつ完全通行を確保されたい。

### 3. 賀老高原通線道代行事業について

安全通行を確保するため、待避所及びカーブミラーの増設を図られたい。

### 4. 水道事業の進捗状況について

供用開始に向けて、事業推進に万全を期されたい。

## 議員発議

## 補正予算

閉会中は議長が指名できる等の規定を追加するもの。

### ◎全員賛成で原案可決

か、当面必要とする経費について補正するもの。  
▲345万6千円減額

### ◎賛成・反対同数、議長裁決

により原案可決

### ◎賛成多数で原案可決

後志広域連合に関する調査について、伊藤真一委員長より調査の結果が報告されました。

### ◎可決すべきものと決定

#### ・付帯意見

### 1. 連合構成19町村のうち1町村でも本連合から離脱した場合には、本村議会としても再考するものとする。

### 2. 本年12月中旬に、構成全町村議会が可決しない場合には、本件決定はその効力を発しないものとする。

### ◎全員賛成で原案可決

### ◎全員賛成で原案可決

#### ▼専決処分の報告

### 中学校配置公用車の物損事

故について、過失割合が百分

公用車にあると認め、その損

害額約18万円を賠償額と決定

### （全額、保険金で補填。）

### ◎全員賛成で原案承認

#### ▼医師の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

### 診療所医師の夜間・休日診

療手当を月額10万円から20万円に改定するもの。

### ◎反対多数で否決

### ▼特別職の職員の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

### ▼賃金支給に関する条例の一部改正

### 職員の不祥事に鑑み、村長の給料を1ヶ月間15%減額するもの。

### ◎全員賛成で原案可決

### ▼医師の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

### 診療所医師の夜間・休日診

療手当を月額10万円から20万円に改定するもの。

### ◎賛成多数で原案可決

### ▼辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更

### 永豊辺地の整備計画の一部変更（医師住宅新築工事の追加）

### ▼辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更

### 永豊辺地の整備計画の一部変更（医師住宅新築工事の追加）

### ▼指定管理者の指定

### 10ヵ町村で真狩村に建設した、後志南部地区地域資源循

### 環管理施設（土地改良資材製造施設）の管理を指定管理者

（ようてい農協）に行わせるため、議会の議決を求めるもの。

### （ようてい農協）に行わせるため、議会の議決を求めるもの。

### ◎全員賛成で原案可決

### ▼18年度一般会計補正予算（第5号）

平成19年1月から勤務する嘱託医の手当及び各事業の完了見込みによる予算の整理ほ

ど、地方自治法の改正に伴い、常任委員等の選任について、

### 2. 千578万7千円追加

### ◎全員賛成で原案可決

### ▼18年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

### 退職分医療費の増により療養給付費等の追加のため補正するもの。

### ◎全員賛成で原案可決

### ◎賛成・反対同数、議長裁決

により原案可決

### ◎賛成多数で原案可決

「収入役」を「副組合長」に、「会計管理者」を設置。

### ◎全員賛成で原案可決

「助役」を「副組合長」に、「会計

### ◎賛成多数で原案可決

「収入役」を廃止し、「会計

### ◎賛成多数で原案可決

「助役」を「副組合長」に、「会計

か、当面必要とする経費について補正するもの。  
▲345万6千円減額

閉会中は議長が指名できる等の規定を追加するもの。  
◎全員賛成で原案可決

後志広域連合に関する調査について、伊藤真一委員長より調査の結果が報告されました。



## 佐藤議員

### 2. いじめ問題について

昨今、社会現象のように、いじめ問題による自殺者が後を絶たず、子どもたちのこのような悲惨な結果のみならず、その責任を自らの死をもって対応する学校長まで現れておることは、私のみならず、ここにおられる誰もが心痛の思いであろうと考えております。

そこで、当村においてこのような悲惨な結果を招くような予兆があるかどうか、また、あるとするならばどのような対応をしておられるのか、なければ、予防策としてどのように対応しておられるか伺いたいと思います。

### 教育長

滝川市におけるいじめ自殺事件に端を発し、全国各地において、いじめにより子どもたちが自ら命を絶つという大変に痛ましい事件が続いております。

また、いじめを受けて苦しんでいる子どもたちからの悲痛な手紙が、文部科学大臣や北海道知事にも送られており、これらいじめ問題は、私たちの身近における大きな社会問題となっているところであり、質問者同様、私も心を痛めているところであります。

さて、いじめ問題につきまして、一般的に「いじめ」の定義とされております「自分より弱い者に対する一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じている

との認識の下に、学校では児童生徒の指導に当たっているところであり、担任はもとより全教職員が、いじめの前兆サインがないか、学校における子どもたちの修学態度、生活態度、健康状態、交友関係等様々な視点から見守るとともに、いじめ問題に関する情報の共有化、校内研修や教員相互の連携など校内体制を強化しつつ、島牧小・中学校で5年前から積極的に進めてきました道徳教育と運動した学級指導や全校集会を通じて、子どもたちの心へ直接的に働きかける、いじめ防止対策等も継続的に行ってきたところであります。

からも対応して参りますのでご理解賜ります。

### 再質問（要望）

今、島牧においては無いといふことで一安心をしているところです。

また、無い中においても、教育長が充分に対応を取られておるのかなというふうに感じます。

しかし、いじめで悲惨な結果を招いたときに、皆さんもご覧になられたことがあると思います。

けれども、学校、並びに教育委員会の方々が、亡くなった児童の

ご自宅に行って頭を下げている姿がテレビに何度も映っている

と思います。

現在無いということですけれども、今ご答弁があつたように、随時注意を払っていただくといふことと、やはり、無くしていなくては、各家庭ですとか、地域ですとかも含めて、島牧に居る皆で島牧の子どもたちを守っていくことが大事だと思います。

### 佐藤議員

### 3. 村医住宅について

これも先程、村長の行政報告にありましたが、2人目の医師招聘のための住宅が間もなく完成を迎えるますが、多くの村民の方々より、何故にログハウスが必要であったのか理解に苦しむとのご質問をいただくことがあります。

最後に、私見でありますが、いじめ行為は人間社会において常に起こり得る問題行動であると思います。

私は自身は、7月の臨時議会において上程されたこの医師住宅建設についても踏まえながらこれからも適時対処してまいりたいと考えております。

ましてや未発達な子ども社会においては、重ねて申し上げます、が、議会においても賛成多数にて可決され現在に至っております。

そこで、多くの村民の皆様が疑問視しておられるログハウスの選択に至った経緯を、新しく来られる先生が、村民各位より更に感謝をされ、気持ちよく着任いただけるよう、先生との協議経過と併せてご説明を願いたいと思います。よろしくお願いします。

併せて、いじめはいつでも、どこででも起こり得るものであると認識しているところであり、危機管理意識を常に持ち続けこれ

との認識の下に、学校では児童生徒の指導に当たっているところであり、担任はもとより全教職員が、いじめの前兆サインがないか、学校における子どもたちの修学態度、生活態度、健康状態、交友関係等様々な視点から見守るとともに、いじめ問題に関する情報の共有化、校内研修や教員相互の連携など校内体制を強化しつつ、島牧小・中学校で5年前から積極的に進めてきました道徳教育と運動した学級指導や全校集会を通じて、子どもたちの心へ直接的に働きかける、いじめ防止対策等も継続的に行ってきたところであります。

不登校傾向にある児童生徒への対応につきましても、その原因・背景等に、いじめなどの問題が潜伏していないか、常に検証してきているところでありますのでご理解賜りたいと思います。

最後に、私見でありますが、いじめ行為は人間社会において常に起こり得る問題行動であると思います。

私は自身は、7月の臨時議会において上程されたこの医師住宅建設についても踏まえながらこれからも適時対処してまいりたいと考えております。

ましてや未発達な子ども社会においては、重ねて申し上げます、が、議会においても賛成多数にて可決され現在に至っております。

そこで、多くの村民の皆様が疑問視しておられるログハウスの選



## 長尾議員

### 1. ニセコバスの運行ダイヤについて

寿都に着いてから、島牧方面へのバスをやしばらく待たなければならぬ状況を少しでも解消できるように、ダイヤの見直しができないものかお伺いいたします。

寿都に着いてから、島牧方面へのバスをやしばらく待たなければならぬ状況を少しでも解消できるように、ダイヤの見直しができないものかお伺いいたします。

村長

ニセコバス運行ダイヤの件についてでございますが、岩内線

から島牧線への乗り継ぎにあたり、午後4時台の便で長時間の待ち時間が生じるもののがございます。

運行事業者に対してもダイヤ編成にあたっては、円滑な乗り継ぎを念頭に計画するよう要請しておりますが、他の路線からの乗り継ぎ、JRとの連絡便の確保などから、個別的に不具合が生じる便も有り得ることで今日に至つておるところでござります。

また、本年12月1日付けのダイヤ改正では、沿線町村の申し出により長万部線で1往復の減便が行われましたが、その際にも見直しするよう要請いたしましたが、他の路線、JRとの連絡を確保するうえでは当該時刻の見直しは困難のことであ

りました。

住民の皆様にはご不便をお掛けしておりますが、小樽方面へ

の朝・夕の日帰り往復便については、円滑な乗り継ぎ便として今後も継続確保してまいりたいと存じますのでご理解を賜りました。

再質問（要望）

今お伺いしましたところ、長万部方面1便減便と。

確かに一番は利用者の減少ということです、大変なんでしょうけれども、本当にバスを利用しなければならない方々は、交通弱者と言いますが、そういう方々でございまして、確かに島牧の便も減便している状況ではありますけれども、やはりできるだけ利用者の便宜を図つて、その利用度を十分勘案していただ

へんを十分踏まえて運行会社と今後も積極的に交渉を進めたいただきたいと思う訳であります。

これは要望ということで答弁は結構です。

### 2. 新年度予算編成について

いよいよ年も暮れて、新年度予算編成の作業が本格化すると思します。

そういう中で、村長にとっては今期、最後の予算編成であります、どのようなお考で臨まれるのかお伺いいたします。

村長

新年度予算編成の考え方についてでございますが、新年度予

算につきましても行政の継続性、補助事業の申請等考慮いたしまして、通年予算で編成いたしま

す。

なお、厳しい財政状況にあり

ますが、診療所の医療体制の整備等で前年に増して一般財源を要するところから、一般経常費の削減はもとより、行政改革に

ます。

村長

通年予算ということで、投資的経費、臨時の経費、それらも

含めて計上する考えであります。

これは要望ということで答弁は結構です。

担の適正化等により工夫を凝らした予算編成をする所存でありますので、ご理解賜りたいと存じます。

### 再質問

今確か通年予算というふうな言葉があつたかなと思うんですが、通年予算とおっしゃります

と、経常経費のみならず、投資的経費も含めたということでしょうか。

## 瀬戸川議員

### 1. 公営住宅における現状と改善並びに本村への移住促進の対応について

本村の公営住宅に関して、既に多くの住人が認知しているように、老朽化が進んでおります。

また、部屋の数、間取り等、現在住んでいる方々からは、時代にそぐわない住環境であるとの声が聞こえてきております。

これらについての対応をどう考えているのか、また、これらを鑑みたとき、中期的観点から新たな公営住宅の建設ということを念頭に入れているのかどうか、また念頭に入れているならば、いつ頃を想定しているのかまずお伺いします。

また、一方において、定年退職者が全国的に増加の傾向を示していることを受けまして、本村として定年を迎えた方々に本村に住んでいただきまして、それによって過疎化の歯止めと地域の活性化を図るためにも、その具体策として住宅の確保、及び土地の提供、或いはPR等、様々あろうかと思いますが、この点についてお伺いいたします。

村長

公営住宅に関するご質問であ

りますが、現在村が管理してお

ります公営住宅は、元町団地、千走団地、泊団地、本目団地の

當住宅は昭和42年度の元町団地であり、以後、平成11年度の本目団地まで順次建設してまいりましたが、ご指摘のとおり老朽化が進んでおります。

建替えの対象となっております公営住宅は、本目団地以外の全てであります。

公営住宅の建設につきましては必要と思われますので、入居者意識調査アンケート、また、建設予定地の確保並びに村住宅計画を作成のうえ、国に予算要求する必要がございます。

工事の着手については、平成22年度以降となりますが、早期建設に向け取り進めてまいりたいと存じますのでご理解願います。

次に、本村への移住促進対策として、退職期を迎えた団塊の世代を対象に施策を講じてはどうかとのことであります。団塊の世代の知識や経験は地域の生活環境の向上や経済活性化に有用なものと思われますので、北海道が行う「北の大地への移住促進事業」、これらの施策も考慮に入れまして受け入れ環境の整備等について検討してまいりますのでご理解賜りたいと存じます。

再質問

今、村長のほうから報告があ

りまして、確かに公営住宅につ

いては、本目地区の住宅以外においてはかなり老朽化が進んでおる実態でございます。

そんな中にあって、公営住宅に入居している方々の中には、老朽化に伴って自己負担で不備な部分を直している方がおります。

また、一方においては、それが出来ず、村のほうに言って、結果としていいのかどうか分からぬでいる人等もおります。そういう面では様々でございます。

ある住宅では、押入れの中の壁が凍りついて布団が湿つて使えないとか、また、ある住宅では居間の床が落ちていているという、

こういう状態が現在もあります。いろいろ村の予算等を見ますと、随時そういう公営住宅の修繕等を図られているということを認識される事ができる訳ではありますけれども、こういうことを考慮したときに、今村長のほうからもお話をありました

とおり、村の広報などで住宅の不備及び不具合の取扱い等についての文言を明記して、そして

更に対応していくだければ有難いと考えることでございますけれど、この点について今後してい

ただけるかどうかお伺いしたいと思います。

また次に、公営住宅の建設について只今答弁がありまして、平成22年という一つの年限が示されておりました。大変有難いなと思っておるところでございます。

私も当初より、中期的という観点からということで質問しておりますので、今すぐということは決して申す訳ではございませんけれども、そういう面で有難いなと思います。

ただ、村の将来像等について今の現状を踏まえつつ、常に前向きに考えていくただければ有難いと思います。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

今後人口の減少、また、空き住宅の懸念等についてもあろうかと思いますけれども、決して人口の減少及び高齢者等における死亡などによる自然減によっての空き住宅というものは、決して私は増えるものとは思っておりません。

うことは私は無いと思うんですね。

子どもが村に帰ってくるといふことは多々ありますし、また、結婚によって親と別居しなきゃならないという人も必然的に出します。

私も当初より、中期的という観点からということで質問しておりますので、今すぐということは決して申す訳ではございませんけれども、せんけれども、そういう面で有難いなと思います。

ただ、村の将来像等について今の現状を踏まえつつ、常に前向きに考えていくだければ有難いと思います。

最後に、定年退職者の受入れ等について、これも非常に有能な人材が多々あるという事で、今後そういう方々の居住について道のほうに色々対話をしながらというふうなことが今あります。

したけれども、やはり全国的な規模で各自治体が定年退職者の取り組みを進めております。

また、二点目の村営住宅についての空いているところの貸し出でございますけれども、これも今まで数件村営住宅について、使ってないところについては貸し出しをしてございます。

今後もそういう希望があれば、それにも対応をして貸し出します。

今は行政からの観点からも、言えは講じていかなければならぬ課題の一つであると思います。

また、本村に帰ってきて、新規事業を始めたという方も現に私のところに来ておるんですけども、中々そういう

そういうことも考えまして、このような人達に対して土地及び住宅の確保並びに提供等を申し出されたときの対応について村長はどのようにお考えでしょうか。

この三点についてお伺いしたいと思います。

村長

一点目の公営住宅の整備に対する考え方でございますけれども、今まで公営住宅については入居者から整備等の要望があればその都度対応してきたところです。

それにつきましては、今後も適切に対応してまいりたいと思ってございます。

また、二点目の村営住宅についての空いているところの貸し出でございますけれども、これも今まで数件村営住宅について、使ってないところについては貸し出しをしてございます。

今後もそういう希望があれば、それにも対応をして貸し出します。

今は行政からの観点からも、言えは講じていかなければならぬ課題の一つであると思います。

また、三点目の新規事業に対する支援等の考え方でございますけれども、これらにつきましても今のところ正式には村のほうに申し入れはございませんが、それについても村有地の



品目を認めていないため、日豪FTA締結により、関税が撤廃されることが危惧されとともに、その後の他国への波及も予期され、北海道農業をはじめ地域経済は壊滅的打撃を被り、地域社会が崩壊することになります。

る恐れもあります。  
日豪FTA交渉では、豪州が我が国的重要品目の柔軟性に配慮しない場合は、交渉中断などの毅然たる対応を行うこと。

## 第4回村議会臨時会

平成18年第4回臨時会は、11月28日招集され、後志広域連合の設置に係る議案を審議し、同日閉会しました。

### 審議した議案と内容

▼後志広域連合の設置について  
後志管内19町村の区域を一括して設置するため、関係町村議会の議決を求めるもの。  
◎全議員で構成する「後志広域連合に関する調査特別委員会」を設置し、これに付託して閉会中の継続調査とすることになりました。

（12月12日及び12月18日の第4回定例議会休憩中に2度の特別委員会を開催し審議した結果、可決すべきものと決定し、同定例議会に報告しました。）

### ▼医療体制に関する調査について

救急医療を含めた、今後の村の医療体制について、調査検討するため、「医療体制調査特別委員会」を設置するもの。

◎全議員で構成する同特別委員会を設置し、これに付託して閉会中の継続調査とすることになりました。

## 議会の日誌

（自 平成18年10月  
至 平成18年12月）

### [10月]

- 11日 南部後志町村議会正副議長会視察  
～13日 （室蘭市他 正副議長）  
21日 保育所発表会 （副議長）  
北海道市町村合併シンポジウム  
(札幌市 玄杵議員他)

- 23日 救急自動車受納式 （消防支署 副議長）  
24日 例月出納検査  
26日 総務社会常任委員会現地調査  
27日 総務社会常任委員会学校訪問

### [11月]

- 8日 身体障害者福祉協会南後志ブロック研修会  
(おあしす 議長)  
13日 決算審査特別委員会  
議員協議会  
産業建設常任委員会現地調査  
水道事業進捗状況現地視察

- 20日 例月出納検査  
20日 後志支庁管内町村議会議長会研修視察  
～22日 (宮城県大川原町 議長)  
町村議会議長全国大会  
後志支庁管内町村議会議長会臨時総会  
(東京都 議長)  
24日 岩内・寿都地方消防組合議会  
(岩内町 高島議員)  
28日 第4回臨時会
- 〔12月〕
- 6日 財務行政懇話会 (おあしす 後藤議員)  
12日 議会運営委員会  
後志広域連合に関する調査特別委員会  
18日 第4回村議会定例会  
後志広域連合に関する調査特別委員会  
20日 例月出納検査  
21日 議員協議会  
27日 南部後志衛生施設組合議会  
(寿都町 伊藤議員)  
南部後志環境衛生組合議会  
(黒松内町 佐藤議員)

△議会広報「かりば118号」  
をお届けします。

本号では、12月18日に開催された第4回定例会の審議内

容、一般質問を中心に編集しました。

ご覧になって、村の方針や議会活動に理解を深めていただきたいと思います。

△3月には、平成19年度の予算を審議する定例議会があります。

私たちの村の予算を審議する大事な議会です。議会を傍聴してみませんか。

手続きは、受付名簿に名前を記入するだけです。

△昨冬は異常な大雪でしたが、今冬はどうなるのか、気象局では、ほぼ平年並みと予想しているようですが？

まだこれからが冬本番。除雪による事故にはくれぐれも気をつけましょう。

編集をおえて